

◎ ペレット関連情報

■ドイツのブルクハルト社製木質バイオマスコージェネレーション（熱電併給）システムの販売拡大や導入促進において、三洋貿易（株）（東京）と（株）洗陽電機（兵庫）が業務提携（6月9日）。未利用木材等から加工した木質ペレットを燃料として発電を行い、発電時に発生する排熱をペレット製造用や温浴施設、温室などの熱源として利用するシステムで、発電のみの効率率は30%、熱利用も組み合わせると総合効率率は75%に。複数台を連結することで50kW～2000kWまでの発電量に対応できる。三洋貿易は、同システムの日本総代理店として販売・メンテナンス体制の整備を進め、洗陽電機はエンジニアリングやメンテナンスのほか、熱電併給を活用したエネルギー事業組成を支援。両社は今後同システムを地産池消の事業モデルとして全国の市町村や木材集積地の土場などに展開し、5年間で計5万kW以上の開発を推進していく【三洋貿易（株）：2016/06/14】

<http://contents.xj-storage.jp/xcontents/31760/0636438c/2c52/4614/8c48/0f881ed5002d/140120160614423519.pdf>

■（有）河西（神奈川）、イタリア・BOILERNOVA ボイラーノバ社の貯湯タンク TOTAL シリーズの取扱いを開始。性質の異なる複数の熱源（太陽熱温水器、ペレットボイラー、薪ボイラー、ガスボイラー、石油ボイラー、ヒートポンプ、電熱ヒーター、等）を利用する給湯・暖房システムにおいて、「エネルギー集中・分配センター」の役割を担う重要な構成部品。タンク本体には熱利用のための複数のポートが設けられており、パネルヒーター、温風ヒーター、床暖房など用途に応じてポートを選択し、接続出来るとのこと。同社ウェブサイトで紹介中【EURO STOVE（[有] 河西）：2016/06/17】

<http://www.pellet-stove.jp/%E8%B2%AF%E6%B9%AF%E3%82%BF%E3%83%B3%E3%82%AF%E3%83%9C%E3%82%A4%E3%83%A9%E3%83%BC%E3%83%8E%E3%83%90boilernova/>

■（一社）日本木質ペレット協会（東京）、6月17日に都内で定時総会を開催。2015年度末の正会員は58、賛助会員は10。同協会が定めたペレット燃料の規格に即した認証事業では、上伊那森林組合から年間販売計画1,800t、（株）イワクラから同900tの申請が提出され、両社は更新するもよう。今年度は品質規格、需要拡大、ホームページの作成の3つのワーキンググループ（WG）を設置して作業を進める。品質規格WGでは海外ペレット規格や

ISO 規格などへの対応を行う。役員の変動では、協会の窓口役として ISO 規格への対応や他団体の国内規格との一本化調整に前向きな立ち位置にいた茂木弘之専務理事（[株]渡会電気土木営業部長）は更迭され、中村元氏（[一社]日本木質バイオマスエネルギー協会理事）が就任【OSR No.235：2016/06/29】

※ OSR・・・オンサイト・レポートの略